

工学部・物質生命化学科・136T1806 前田 佑基

「あかりのバトン」

- ・このバトンは両端が握られたときのみに点灯する仕組みである。
- ・このバトンは握られたときの圧力や体温により、光の色や点灯の仕方（点滅したり、模様があかり）が変化する。
- ・両端が握られている間はしばらく点灯が連続する。

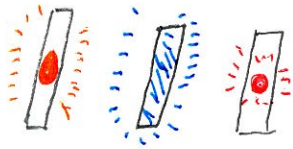
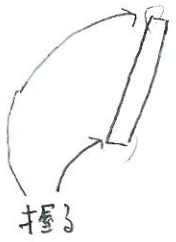
・使い方

各々が片手でバトンの一端を握って、別の人は手渡しするとき、互いが握った瞬間バトンが点灯する。上で書いた点灯の小性質により握り方、握り方により光の色は異なる。

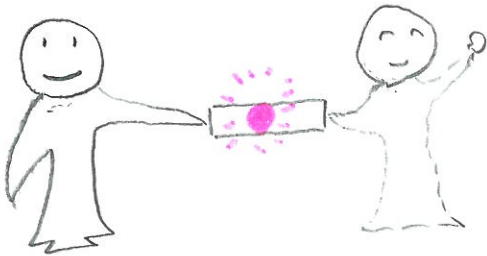
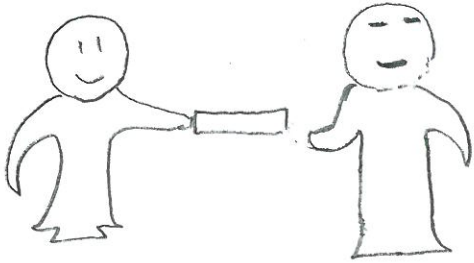
・イベント

このバトンを用いれば面白いイベントを開くことができる。バトンを友達や知り合いに次々に手渡ししていくことで様々な様子にバトンを点灯させる。盛り上がる企画である。また、知らない人に手渡ししてみると、仲良くなるかもしれない。このような性別、年齢や答がみな仲良くなることできる。

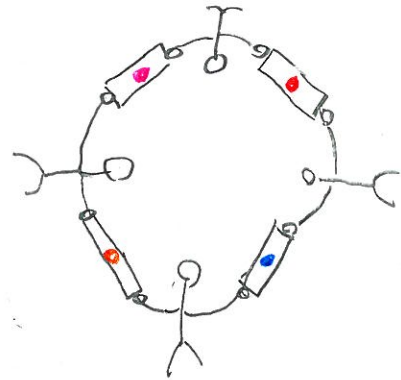
イメージ



握る人によって様々な表回りとなる。



表回りはしばらく点灯するの？
写真撮影も可能。



バトンの革命

ちなみに決めた方向にバトンを強く
握れば光がまわりのように見える。

